



## 大切な飼い犬を迷子にさせないために！

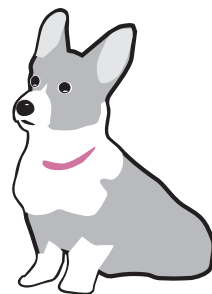
常陸大宮市では毎年多くの迷い犬を保護していますが、鑑札や狂犬病予防注射済票が着いていない、飼い主の方から連絡がないなど、飼い主の元へ帰れない犬がいます。家族の一員である大切なペットを守るため下記のことにご協力ください。

### 迷子にさせないために！

- ◆首輪が緩んでいないか、鎖が古くなっていないか、定期的に確認しましょう。
- ◆鑑札や注射済票を着けましょう。着いていれば市役所で保護した時に飼い主がわかります。

### もし迷子になったら…

- ◆すぐに探してください。そのうち戻ってくると考えていませんか？毎日移動して日がたつにつれて離れていってしまいます。また、事故に遭う可能性も高くなります。
- ◆市役所環境課、各総合支所及び茨城県動物指導センターへご連絡ください。保護されているなど何か情報があるかもしれません。



### 問い合わせ

- 環境課環境推進グループ ☎52-1111 (内線123)
- 各総合支所市民福祉課 (代表)  
山方 ☎57-2121 美和 ☎58-2111  
緒川 ☎56-2111 御前山 ☎55-2111
- 茨城県動物指導センター ☎0296-72-1200

## 健康 通信

常陸大宮済生会病院  
外科消化器科  
小野 公平先生



### 「傷の手当てについて」

病院で外来診療をしていると、けがをした患者さんが多くいらっしゃいます。転んだ、ぶつけた、挟んだ、切った等々受傷機転（けがを負うに至る原因、経緯）は様々です。傷が泥や土砂などで汚染されている方や、受傷後数日してから受診される方もいます。また、状況によってはすぐに医療機関を受診するのが難しいこともあるかと思えます。そこで今回は、患者さんにも知っていただきたい傷の初期対応について説明します。

意外と多いのが、擦り傷（擦過傷）に対して市販の薬を塗って来院される方です。一般的には傷はべとべとの状態（湿潤環境）の方が、痛くなく、きれいに、早く良くなります。

しかし、傷口を乾燥させるような某スプレーは治癒を遅くしてしまいます。また「消毒薬」にも注意が必要です。消毒薬は刺激が強く、粘膜を障害する作用（そのためしみて痛くなる）がありますので、これも治癒を遅らせてしまいます。「消毒してからスプレーをかけて来ました」というのが最も良くないパターンです。

ではどうすればよいかというと、まず流水（石鹸不要）でよく洗い流し、その後傷口を乾燥させないような被覆剤を貼った状態で来院していただくのがベストです。乾燥を防ぐ被覆剤は、ポリウレタンやハイドロコロイド等を材料としたばんそうこうのようなもので、市販されているので近所の薬局で購入可能です。もちろん刃物等による切り傷では深さによっては縫合処置が必要となったり、汚染された傷では抗生物質の投与も必要となったりしますので早期の受診が望ましいのは言うまでもありません。